

## 会 議 録

|        |   |
|--------|---|
| 会議の名称  | 補助金等見直し検討部会（第26回）   |
| 開催日時   | 平成24年11月2日（金）<br>（午前・午後）10時00分 開会<br>（午前・午後）11時00分 閉会   |
| 開催場所   | 南館8階 中会議室   |
| 出席者    | <p><b>【外部委員】</b><br/>坪内隆、中森孝文、杉田宗三、棟田勝子</p> <p><b>【検討部会員】</b><br/>河井企画財政部長、秋元財政課長、小田地域教育振興課長、山寄政策法務課長、大神人権・男女共生課長、上田政策企画課長、北遼市民活動推進課長、原田福祉政策課長、北川障害福祉課長、田川高齢介護課長、岡こども政策課長、徳永商工労政課長、大神農林課長、松本環境政策課長、田邊都市政策課長、西村まちづくり支援課長、乾教育政策課長、前田学校教育推進課長、池田市民学習課長、増田青少年課長、中井スポーツ振興課長、萩原消防総務課長</p> <p><b>【作業部会員】</b><br/>青木市民活動推進課長代理、岩崎財政課係長、多田人権・男女共生課長代理、岸本福祉政策課係長、成田障害福祉課長代理、村上高齢介護課係長、平野こども政策課長代理、河原商工労政課係長、内田農林課係長、井澤環境政策課主査、馬場都市政策課参事、福田まちづくり支援課長代理、砂金道路交通課係長、阿曾教育政策課主査、上田学校教育推進課主幹、加藤市民学習課係長、小島青少年課長代理、松澤スポーツ振興課係長、中井消防本部総務課参事、野村議会事務局総務課長代理、北川財政課職員</p> |
| 事務局職員  | 係長1人  |
| 開催形態   | 公開（傍聴者なし）   |
| 議題(案件) | (1) 補助金等の適正化について<br>L その他の補助金（L-09～11）  |
| 配布資料   | (1) 補助金等適正化検証シート<br>(2) 追加資料  |

## 議 事 の 経 過

| 発言者   | 議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項  |
|-------|--|
| 議長    | 本日も引き続き、補助金等適正化検証シートについて審議をする。   |
|       | <p><b>【議題 1 各補助金等の検証】</b></p> <p><b>【L-09 私立幼稚園連合会補助金】</b></p> <p><b>【L-10 私立保育所等運営補助金（私立保育園連盟）】</b></p>   |
| 説明員   | <資料 補助金等適正化検証シート（L-09・10）に沿って説明>   |
| 外部委員  | 補助対象経費に占める補助金の割合は、幼稚園が90%、保育所が16%であるが、私立の幼稚園の補助金を廃止すると研修の機会が無くなるのか公立との差が出るなどの弊害はないのか。                      |
| 説明員   | 補助金とは違う形で、市との共催などを通じて幼児教育の充実を図っていくことも考えていく。  |
| 外部委員  | 公私において運営形態は異なるが、教育内容を充実するべきである点是不変変わらない。補助金の廃止はやむを得ないが、教育という重要性を考えたいうえで廃止することによって弊害が起こらないよう代替措置を十分に考えて欲しい。 |
| 説明員   | 私立保育園についても研修は重要なことと認識しており、公立と連携するなど充実を図っていききたい。  |
| 検討部会員 | 補助対象経費で、幼稚園は41万5千円、保育園は597万7千円。保育園の具体的な経費は何か。  |
| 説明員   | 交流会等の色々な行事を開催しているためこのような経費になっている。  |
| 検討部会員 | 連盟としては相互の連絡調整活動は行っていたが、市の補助金に頼ることなくやっていく方向性で考えていいのか。   |
| 説明員   | 研修など必要なことについては、事業補助も視野に入れて考えていきたい。   |
|       | <p><b>【L-11 山地部校文化行事振興会補助金】</b></p>  |
| 説明員   | <資料 補助金等適正化検証シート（L-11）に沿って説明>  |
| 外部委員  | 山地部の2校と平地部の児童数の差はどのくらいあるのか。  |

## 議 事 の 経 過

| 発言者   | 議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項   |
|-------|---|
| 説明員   | 山地部では、清溪小学校が26人、忍頂寺小学校が33人である。平地部では、100人台が2校。200人台が若干ある状況にある。また、大きなところでは1000人台の学校もある。多くの学校では、保護者から500～600円を集めており、それでも足りない学校では、PTAから補助をもらって何とか実施しているところもある。しかし、児童数180人の郡山小学校では、それも厳しいことから、数年前から文化行事を実施できていない状況にある。平地部でも厳しい学校もあるので、2校に限らず均等にやっていく必要があると考えている。 |
| 外部委員  | 観劇や映画鑑賞の費用はどのくらいか。  |
| 説明員   | 平均30～40万円と思うが、少ないところでは10万円とか、高いところでは70万円くらいと聞いている。金額を考慮しながら、学校ごとに工夫されて実施している。   |
| 外部委員  | 40万円の補助金が支出されているが、少数の学校を増やしていくと予算は増えていくのか。  |
| 説明員   | 今後、詳細に検討していくが、増えることも想定している。   |
| 外部委員  | 生徒から集めた差額分の100%を補助するのか50%補助するのかなど、今後は指針を作ってやっていくのか。   |
| 説明員   | そういう形で考えている。比率等は今後検討する。   |
| 検討部会員 | 特色ある学校づくり推進交付金は活用できるのか。   |
| 説明員   | 実施数は少ないが、中学校において活用しているところもある。   |
| 議長    | 文化行事振興会という組織は、見直しに伴って変更するのか。  |
| 説明員   | 要綱も変更しなければならないので、抜本的に変更が必要である。  |
| 説明員   | <b>【L-01～03 公的委員が円滑に活動するために当該委員で組織する団体への補助金】</b>  |
| 説明員   | <追加資料に沿って説明>  |

## 議 事 の 経 過

| 発言者   | 議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項  |
|-------|--|
| 外部委員  | 改正案の中の事業費補助分が支出の有効性が高い事業というくくりになっているが、有効性の高い事業で、かつ補助の上限を設けると理解したら良いのか。   |
| 説明員   | そのとおりである。  |
| 外部委員  | 有効性が高い事業かどうかを市でその都度検証して、それに対して上限額まで達しているかどうか判定するかという趣旨で良いのか。   |
| 説明員   | 補助というのは先に補助額を算定するので、次年度に予定される内容を見て補助額を決定することとしたい。  |
| 検討部会員 | この補助金だけの話ではないが、事業費の中で研修・視察とされているものは、毎年、バスを使用して研修・視察へ行くようなものもある。決して、全てが悪いわけでないが、有効性をしっかりと検証しながら、しっかりと効果を市民に説明できる形にしていきたいと考えているので理解願いたい。 |
| 外部委員  | 委員の活動費は、他市と比べて少額であるため増額するとのことであるが、活動費は補助金ではなく、その他の予算に付け替えということになるのか。   |
| 説明員   | 府は、委員の活動費として協議会に補助金を支出し、協議会から各委員へ配分しているため、市も同様に行ったほうが効率的な部分もあるが、支給の手法については、現在検討中である。   |
| 外部委員  | 府の補助金を充実してもらうことはできないのか。  |
| 説明員   | 府に働きかけはしたいと思う。   |
| 外部委員  | 活動費の増額をするということは、もっと活動してほしいということなのか、実際の活動費に足りていないから増額するということなのか。  |
| 説明員   | 100%の実費的な補助はできていないと考えている。民生委員は地域の全てを把握し、困難な方への支援をされているが、近年、その活動量は非常に増加している。そういったことから増額を検討している。   |

## 議 事 の 経 過

| 発言者  | 議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項   |
|------|---|
| 外部委員 | 方向性は良いと思うが、参考までに豊中が 12,000 円、池田 13,500 円であるが、どれぐらい充実を図るつもりなのか。  |
| 説明員  | 茨木市は現状年 6,000 円であるが、豊中市、池田市を参考に検討していきたい。  |
| 外部委員 | 個人の活動が主となるので、協議会としての有効な事業活動の中身がわかりにくかったが、分かり易く図示してもらったので一定の理解はできる。主な支出内容に書かれている定例会や部会活動が、事業として有効なのかどうか、市としてしっかりと効果を検証して、有効な事業をとらえて補助金を支出するようお願いしたい。   |
| 外部委員 | 民生委員は志で活動されている方も多いと思うので、有効な活動という視点のみで効果を図るのではなく、委員への支援と言う視点でも考えていただけたらと思う。  |
| 議長   | これで予定していた全項目についてご意見をいただいた。これまで個別の補助金等を検証したことについて、全般的な感想等があればお願いしたい。   |
| 外部委員 | <p>我々が負担している税金を、補助金なり、施設の使用料なりに還元して、市の運営にどのように活かしていくかということは、社会経済情勢の大きな変化や、個々の市民の意識も変わっているので、生活レベルを向上とか、市の将来の発展に寄与するのかといったことを十分踏まえて、支出の効果、中身ということについて行政として十分にチェックをしてもらいたい。</p> <p>また、今回の補助金の見直しは、長い期間をかけて、いろいろな団体に支出している補助金について、行政の考え方も聞きながら、我々も一市民として判断し、それぞれの補助金を見直していく機会であった。今後、これまでの内容を踏まえて、効果的な支出と公平で明瞭な方向性を、茨木市として、打ち出していきたいと思う。</p> |
| 外部委員 | 私は、補助金は事業にできるだけ割かれなければならないという視点でチェックをした。運営費や管理費用、特に人件費をたくさん積みまれているところ、さらに市のOBがおられるところに関しては、市民の目線に立って、事業費なのかどうかという視点で眺めてみないといけない。一方、民生委員などについては、ボランティアで行われていることを考えると、どうしても運営費を補助するべき場合もあると思うので、全て事業補助化するのではな   |

## 議 事 の 経 過

| 発言者   | 議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項   |
|-------|---|
|       | <p>く、メリハリをつけて、合理的な理由がある場合は運営費へも補助を行うことも必要ではないかと思う。逆に、文化振興財団などは、管理的経費に多くの補助が行われているが、こちらについては、本当に人件費に補助を行うべきかどうかと考えると、個人的には疑問に残る部分がある。また、ため池の市章の草刈りへの補助金があったと思うが、なぜ私有地の草刈りを市が補助するのか、市民感覚で聞いていると理解できないものがある。設立時には意味があったかもしれないが、現在においては市が補助をする理由がよくわからない。それは、効果があがっていることを市が発信していないことも原因の一つである。市民感覚で理解が得られにくいようなものについては、特に効果を積極的にPRして市民に周知してもらいたい。</p> <p>今回、この様な試みを行ったことは、大変良いことなので継続してもらいたい。</p> |
| 外部委員  | <p>市民委員として、無駄がないか公平であるかの視点で聞かせていただいた。多くの市民団体があって、これだけ活動しているのかを知って勉強になったと思っている。そこで少し思ったのは、今回の検証で廃止や見直しする補助金が多く出てきたが、どうして長いことこのような補助金が継続していたのが疑問に思った。これからは、定期的な見直しが必要だと思う。</p>  |
| 外部委員  | <p>補助金というのは色々な形で出ていることを知った。人の生活を支えるための補助金や、文化・スポーツの振興の補助金など、様々な補助金があるので、市がいろいろと考えた上で出してきたんだろうと思った。</p> <p>私もいろいろとボランティアをしている中で、お金は最低限必要であると感じているので、補助金を十分活用してもらって、ボランティアの活力向上のためにも、今後の茨木市を盛り上げるためにも、市民活動への補助金について、もう少し支出してほしいと思う。</p>   |
| 作業部会長 | <p>担当課と議論するなかで委員が指摘されたように、このような補助金が既得権化されているのか、疑問に思ったこともあった。これからは公平性、公正性のためにどのように補助金を支出していくのか、何年かに1回は見直しを行うべきなのかを、全庁的に考えていかなければならないと感じた。</p>  |
| 議長    | <p>補助金そのものが、今の時代に合う形で見直さなければならないことが今回の取り組みの趣旨であると認識している。長期間にわたっていろいろと貴重なご意見をいただいたので、それらを集約して、次回に総括として取りまとめする。</p>   |

議 事 の 経 過

発言者

議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項

以上